

2023.2.11-12 第 12 回定期総会 お寄せいただいたメッセージ



*受付順 敬称略

1	阿部知子	衆議院議員
2	山崎 誠	衆議院議員
3	辻元清美	参議院議員
4	篠原 孝	衆議院議員
5	山岸一生	衆議院議員
6	宇都宮健児	弁護士
7	菅 直人	衆議院議員
8	末松義規	衆議院議員
9	櫻井 周	衆議院議員
10	山内玲子、他	東京・生活者ネットワーク
11	長崎由美子	社民党大阪府連合
12	岡崎宏美	新社会党
13	大河原まさこ	衆議院議員
14	宮本 徹	衆議院議員
15	吉田はるみ	衆議院議員
16	神谷 裕	衆議院議員
17	保坂展人	世田谷区長
18	打越さく良	参議院議員
19	牧 義夫	衆議院議員
20	森 ゆうこ	前参議院議員
21	小川淳也	衆議院議員
22	水野もと子	参議院議員
23	福島みずほ	参議院議員
24	松下玲子	武蔵野市長
25	近藤昭一	衆議院議員
26	石川大我	参議院議員
27	高良鉄美	参議院議員
28	西村ちなみ	衆議院議員
29	飯田哲也	ISEP 所長
30	梅谷 守	衆議院議員

✿ 立憲民主党 衆議院議員 阿部知子

ロシアのウクライナ侵攻に始る世界中の軍拡競争、コロナ感染症が社会・経済に与えた大きなダメージ、そしてそれぞれの国がかかえた困難の深刻化に政治が問われる日々です。

他方、最も必要とされる気候変動対策を国民と共有する作業はいまだ道半ば、日本における緑の党グリーンズジャパンの皆様の活躍に期待します。

✿ 立憲民主党 衆議院議員 山崎 誠

緑の党グリーンズジャパン第 12 回定期総会の開催を心よりお祝い申し上げます。

結党 10 周年を迎えられ、グローバルな視点で草の根民主主義の実践を通じて未来への責任を果たす政治への転換に向けご尽力されている貴党の活動に深く敬意を表します。

現在、長引くコロナ禍に加え、物価高・エネルギー価格高騰という厳しい状況の中、皆さまのいのちと暮らしを守るため、また、持続可能な社会の実現のためにカーボンニュートラル、自然エネルギー100%をめざす立憲民主党の「エネルギー転換戦略」政策を推進し、その実現に向け、全力で取り組んでいく所存でございます。

結びに、本日ご参加の皆さまのますますのご活躍ご多幸を祈念申し上げ、私からのご挨拶とさせていただきます。

✿ 立憲民主党 衆議院議員 篠原 孝

今や世界の政治課題の中で最も重要な課題は、地球声明全体の存続を図ることではないかと思えます。

その障害の一つは、戦争なかつ核戦争ですが、他にも人類にとっては環境破壊、すなわち自然環境に手をつけたため、今まで接触がなかったウイルスが脅威となることを新型コロナで思い知らされました。

しかし、それと同等以上に危険なのは気候変動に代表される環境の急激な変化です。

SDGs に実現こそ全世界の課題であり、緑の党の役割はますます重要になりつつあります。

御党の更なるご発展を期待しております。

✿ 立憲民主党 衆議院議員 山岸一生

定期大会の開催まことにおめでとうございます。国会では、衆議院の原子力問題調査特別委員会の理事として、委員会運営にあたっています。現場でひしひしと感じるのが、原発回帰、「安全神話」回帰を押し進めようとする政府与党の露骨な動きです。再エネこそ日本の未来だと、皆さんと力を合わせて取り組みます。本年もよろしくお願いたします。

✿ 弁護士 宇都宮健児

第12回定期総会の開催おめでとうございます。
気候危機の深刻化、ロシアによるウクライナ侵略戦争、日本政府による安保政策の大転換と防衛費の倍増政策、いまだ収束しない新型コロナ感染症など、今世界も日本も重大な岐路に立っています。

このような情勢下で、緑の党グリーンズジャパンの役割はますます重要になってきています。貴党の前進を祈念致します。

✿ 立憲民主党 衆議院議員 末松義規

緑の党グリーンズジャパン第12回定期総会の開催、誠におめでとうございます。

貴党の理念として、グローバルグリーンズ憲章の6つの目標である「エコロジカルな知恵、社会正義、参加型民主主義、非暴力、持続可能性、多様性の尊重」は、普遍の原理であり素晴らしい目標だと思います。

私の地元小平市では、貴党の共同代表を務めていらっしゃる橋本久雄議員にご指導頂いており、心から感謝申し上げます。

貴党のますますのご隆盛と皆様のご健勝をご祈念申し上げます。

✿ 社民党大阪府連合 代表 長崎由美子

気候危機による様々な被害が日々私たちの暮らしを直撃しています。豪雪による雪崩や、農業被害、地球規模での危機が進行しています。環境問題を政策の根幹として緑の党は結成10年を超えて活動されてきた事に心より敬意を表します。

社民党は戦争は最大の環境破壊として平和を守り未来への責任を果たすために緑の党の皆様と連携していきます。今春の統一自治体選挙では社民党副党首でもあります、大椿ゆうこを大阪府議選挙でご推薦いただき感謝申し上げます。

格差と貧困にストップをかけ、競争社会から共生社会を実現するためともに頑張ってください。

第12回定期大会のご盛會を心より祈念いたします。

✿ 新社会党中央本部 委員長 岡崎宏美

日頃より新社会党の活動にご理解とご協力をいただき心よりお礼を申し上げます。この間、貴党の皆さんとこれまで以上に各地で共闘・協働の取り組みが進み、私たちは大変勇気をいただいているところです。

さて、4年目を迎える新型コロナ感染症、深刻化する地球環境・気候変動の進行や1年になろうとするロシアのウクライナ侵襲によるエネルギー、食糧危機等々に起因して歴史的な物価高が民衆を直撃し、生活は困難を強いられています。

米国を中心とした新自由主義グローバリズムの矛盾、米中対立の激化・ウクライナ戦争は世界各国に軍事拡大を惹起させ、右翼ポピュリズムや国家主義的体制の台頭を後押ししています。これら世界の軍事費拡大は、国家財政を危機に陥れ民衆の生活を破壊し、「抑止力拡大」は逆に世界戦争の危険性を高めることは歴史の教訓です。政治は明らかに時代の転換点に立っています。

新社会党は1996年に小選挙区制を含む政治改革法に反対した5名の国会議員を中心に「正義・人権・環境・平和」をスローガンの下に結党されました。貴党も昨年結党10周年を迎えたとのこと。ご健闘を祝すとともにさらなるご活躍を祈念致します。

まだまだ寒暖の厳しい日々が続きます。体調に留意し、憲法を活かす政治の実現のためにともに闘い抜きましょう。

✿ 立憲民主党 衆議院議員 大河原まさこ

第12回定期総会の開催おめでとうございます。皆様の日頃の活動に心から経緯を表しています。

結党10年を経て、ますます草の根民主主義を実践する皆様のご活躍がたたえられています。

平和の希求、気候危機への抜本的対策、貧困と格差の解消、山積する政治課題の解決に向けて今後もご一緒に歩を進めて参りましょう。

✿ 日本共産党 衆議院議員 宮本 徹

緑の党第12回定期大会の開催おめでとうございます。緑の党のみなさまの支援に感謝申し上げます。

岸田政権は、昨年12月、原発の新規増設、60年を超す老朽原発の運転を認めることを決定しました。選挙での公約に反し、福島教訓も捨てさり、原発に回帰するなど許されません。EUはウクライナ侵略を受け、再エネ目標を引き上げました。日本でもCO₂削減目標、再エネ目標を早急に引き上げることが必要です。

愚かな軍拡路線を加速するのではなく、世界に平和と軍縮、気候危機打開での協力を呼びかけることこそ、日本政府はするべきです。ご一緒に政治を変えましょう。

✿ 立憲民主党 衆議院議員 神谷 裕

日頃、緑の党グリーンズジャパンの皆様には私の政治活動に御支援、御厚情を賜りお礼申し上げますと共に、この度の「第12回定期総会」の御開催を心よりお慶び申し上げます。

長引くコロナ禍で、皆様の日々の活動にも多大な影響、制限を余儀なくされたことと思いますが、皆様が目指す「未来への責任」と「信頼」に基づいた社会の実現に向け、引き続き一層団結されますように念じます。

又、本年は統一自治体選挙の年でもあり、緑の党の理念、政策を広くアピールする絶好の機会でもあります。

緑の党の益々の御発展と、皆様の御活躍と御健勝を表心より御祈念申し上げます。

✿ 前参議院議員 森 ゆうこ

緑の党十二回定期大会のご盛會をお慶び申し上げます。

自由・民主主義・平和を守り、未来への責任を果たす政治への転換を目指す貴党のたゆまぬ活動に深く敬意を表します。

昨年行われた参議院選挙では、中山均共同代表をはじめ、皆さまから献身的なご支援を賜り、改めて心よ

り感謝と御礼を申し上げます。残念ながら、市民と野党の共闘を象徴する貴重な一議席を守ることは出来ませんでした。自由・民主主義・平和を守る戦いに終わりはありません。

間もなく地方統一選挙が行われます。中山共同代表をはじめ、各地で奮闘される皆様の必勝を心からお祈り申し上げます。

結びに、緑の党の益々のご発展と、皆様のご健勝、ご活躍を祈念申し上げ、お祝いのご挨拶に代えさせていただきます。

✿ 立憲民主党 参議院議員 水野もと子

緑の党グリーンズジャパン「第12回定期総会」開催おめでとうございます。

また、過般の選挙に際して、皆様よりご推薦と絶大なご支援を賜りましたことにつき、改めて心よりお礼申し上げます次第です。

昨年結党10周年を迎えられ、今年はさらに飛躍される第一歩の年です。

今回の総会を機に、貴党が益々ご発展されることを期待申し上げるとともに、本日ご参会の皆様のご健勝ご多幸を祈念し、お祝いのメッセージとさせていただきます。

✿ 武蔵野市長 松下玲子

定期総会のご開催おめでとうございます。

戦争も核もない平和で自由で持続可能な社会の実現に向けて、共に頑張りたいと思います。

✿ 立憲民主党 参議院議員 石川大我

緑の党第12回定期総会の開催おめでとうございます。

また平素より皆様には大変お世話になり厚く御礼申し上げます。

まだまだ先の見通せない新型コロナウイルス感染症対策の遅れ、異常な物価高、上がらない平均所得、にも関わらず突然の大幅な増税の発表など、現政権の下で大勢の皆さんが苦しんでおられます。そのような方々に寄り添い、解決策を導き出す緑の党の皆さまの日頃のご尽力に心より敬意を表します。

現政権下、進まないどころか逆行する原発対策、取り進む姿勢が全く見えない気候変動対策等、御党の皆さまと私、石川大我はぜひ、これからも前向きに活動をともにさせていただきたく存じます。

私のテーマであるLGBTQを初めとする人権問題に関しては特に現岸田政権では全く行政府としての機能を果たす事は出来ません。度重なる政府内部からの差別的発言等、断じて認めるわけにはいきません。政権を変え、私たち市民による政権を勝ち取るために、共に力を合わせ、前に進んで行きましょう。

御党のますますのご発展と、本日オンラインでのご参加のみなさまのご健勝をお祈り申し上げ、私、石川大我からの連帯のご挨拶とさせていただきます。

✿ 環境エネルギー政策研究所(ISEP) 所長 飯田哲也

ジェンダーギャップ指数をはじめ、あらゆる指標で立ち遅れている日本。緑の党が政権与党に入るほどに支持されることが成熟した持続可能な先進国の証だと思えます。引き続き、応援しています。

✿ 立憲民主党 衆議院議員 梅谷 守

第12回定期総会のご盛会を心よりお慶び申し上げます。

この十年間の政治の失敗によって、私たちは子ども子育て政策の充実による少子化からの反転、化石エネルギーからの脱却など、この国の未来を拓く貴重な機会を失いました。

これまで以上の時代の転換期を迎えた今こそ、自公政権の「食い潰しモデル」から脱し、平和を堅持しつつ将来世代への責任を果たすことのできる政治、国民生活に寄り添う政治を実現することが求められます。

国民を蚊帳の外に置いたまま、安易な防衛増税や専守防衛からの転換を進める岸田政権としっかり対峙し、貴党とも連携して、力を尽くしてまいることをお誓い申し上げます。

結びに、貴党のますますのご発展と、ご参会の皆さまのご健勝をお祈りし、メッセージとさせていただきます。

緑の党グリーンズジャパン 御中

メッセージ

第 12 回定期総会のご開催をお慶び申し上げます。日頃から原発ゼロの実現や草の根民主主義の実践に取り組んでこられた皆様に心より敬意を表します。

新型コロナウイルスの感染拡大がまだ収束しないなか、物価高騰が国民生活への負担を大きくしています。そして、長期化するウクライナ戦争を理由に、岸田政権は増税による防衛費の倍増を狙っています。平和憲法をもつ国だからできる平和外交を展開し、国際的な信頼を得ることこそ、日本に求められる立ち位置です。

そして、原発の運転期間延長について、私はこの間政府に質問を重ねてきました。結果、原発が 60 年を超えて運転した実例は一つもないことを政府は認めざるを得ませんでした。引き続き原発ゼロに向けて、議論を重ねて参ります。

本日の定期総会のご盛会と皆様やご家族様のご健勝を祈念いたします。



2023 年 2 月 11 日

立憲民主党 参議院議員

辻元 清美

<http://www.kiyomi.gr.jp>

メッセージ

緑の党の皆様、第12回定期総会の開催をお祝い申し上げます。

4年目になるコロナ禍に加えてロシアのウクライナ侵略が起き、賃金上昇を超える物価高が私たちの生活を直撃しています。そうしたなか岸田政権は原発の新增設・運転期間延長の方針ですが、時代に逆行しています。

「営農型太陽光発電」の普及など様々な方法を駆使すれば、全電力を再生可能エネルギーで賄うことが可能です。福島原発事故に総理として直面した私の使命として、原発にも化石燃料にも依存しない再エネ100%でカーボンニュートラルを実現すべく力を尽くします。

今後とも、ご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。今春の統一地方選を含めた活動のさらなる前進と皆様のご健勝をお祈りし、連帯のメッセージといたします。

2023年2月11日



衆議院議員

立憲民主党最高顧問

菅 直人

(東京18区＝府中・小金井・武蔵野)

祝

「緑の党グリーンズジャパン第12回定期総会」
のご盛會を、心よりお慶び申し上げます。

皆様方が結党以来、グローバル・グリーンズ憲
章の崇高な理念を前進させるため、尽力されてお
りますことに、衷心より敬意を表します。

日本、そして世界が未曾有の混迷の時代の中
にあり、未来への責任をになう政党として、ともに
頑張りましょう。

貴党の益々のご発展と、本日お集りの皆様
のご健勝を祈念し、お祝いのメッセージとさせてい
たきます。

令和5年2月11日

衆議院議員

櫻井 周



兵庫6区(宝塚市、伊丹市、川西市)

緑の党グリーズジャパン

共同代表 中山 均 様

松本 なみほ様

橋本 久雄 様

尾形 慶子 様

緑の党グリーズジャパン

「第 12 回定期総会」のご盛會を心よりお祝いを申し上げます。

日頃より、グローバルな視点で、草の根民主主義の実践を通して、未来への責任を果たす政治をすすめている皆様方の活動に敬意を表します。

ポストコロナの経済回復がすすめられていますが、拡大した格差は生活困窮者や非正規雇用の改善には未だ届いていません。とりわけ女性や若者の貧困は深刻であり、自己責任で済ませてはならない喫緊の課題です。

そのような中で、ヨーロッパを中心に自然と共生しながら食やエネルギー、子育てや介護など、暮らしに直結する市民主体の政治をめざす新たな地域主権の動き「ミュニシパリズム」が注目されています。

今年は、4月に統一地方選挙が行われます。

東京でも、暮らしに直結する市民主体の政治をめざす新たな地域主権の動き「ミュニシパリズム」が根付くよう、貴団体の皆様とともに政治を変えていきたいと思ひます。

本日の「定期総会」が実り多いものとなりますよう願っております。

2023年2月吉日

東京・生活者ネットワーク

代表委員

山内玲子

小西美香

渡部真実



緑の党グリーンズジャパン 第12回定期総会開催に寄せて

「第12回定期総会」の開催、誠におめでとうございます。
皆様方の熱心な活動に深く敬意を表しますとともに、日頃から
のご厚情に心よりお礼申し上げます。
環境問題は、地球に生きる私たち皆なの問題です。原発ゼロは
私の政策の重要な柱です。
身近な存在の国会議員として、皆様のお役に立てるよう力を尽
くしてまいりたいと存じます。
引き続きご指導ご鞭撻を賜りたく、何卒よろしくお願ひ申し上
げます。
最後になりましたが、皆様のご健勝と、貴党のさらなるご発展
を祈念申し上げます。

2023年2月11日

衆議院議員

吉田けい



メッセージ

本日は「緑の党第12回定期総会」が盛会に開催されますことを心よりお慶び申し上げます。また平素より皆様には大変お世話になり厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルスの感染拡大による今回の事態は、新自由主義やグローバリズムがもたらす格差と貧困の拡大を、さらに明らかにしました。そしてこの世界的なパンデミックの背景の一つとして「気候変動」が挙げられています。

世田谷区では、深刻化する気候危機の状況を踏まえ、区民・事業者の皆さんと地球温暖化の問題を共有し、共に行動していくため、2020年10月16日に23区では初となる「世田谷区気候非常事態宣言」を行ないました。宣言において、2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロをめざすことも表明しました。

またこの度、小田急線上部利用施設等のグリーンインフラの取組みが、グリーンインフラ大賞「国土交通大臣賞」(生活空間部門)を受賞しました。線路跡地にみどり豊かな通路や広場などを整備し、連続した緑の空間を創出した取組み等が評価されました。

今後もみどりに恵まれた良好な環境を次世代に引き継ぎ、持続可能な発展と脱炭素社会の実現に向け、取り組んでまいります。

結びに貴党の草の根民主主義に根ざした10年余にわたるご奮闘・ご功績に敬意を表すとともに貴党の今後の益々のご躍進を心よりお祈り致しまして連帯のメッセージとさせていただきます。

2023年2月11日

世田谷区長 保坂展人

メッセージ

緑の党第12回定期総会のご開催を心よりお慶び申し上げます。

日頃より中山均共同代表・新潟市議をはじめ、地域からグローバルな視点を持ち、草の根民主主義を実践されておられる緑の党の皆さまには、絶大なるご支援とご協力、ご指導を賜っていることに心から感謝致します。

安倍政権から続く自公政権は、5年間で総額43兆円もの防衛費を計上しようとしています。専守防衛の理念を守り軍事大国にならないことこそが日本の進むべき道です。また、更迭された荒井前総理秘書官の差別発言で露呈した多様性を認めない政府の姿勢は、世界の趨勢から大きく遅れたものであり、宗教右派と軌を一にしようとしている岸田政権は一刻も早く倒さなければなりません。

私も皆さまとともに市民と野党との共闘を力強く前進させていくことをお誓い申し上げます。

結びに大会のご盛会と緑の党のますますのご発展と皆さまのご多幸を祈念いたしまして、私のメッセージとさせていただきます。



2023年2月11日

参議院議員 打越 さく良

緑の党グリーンズジャパン 御中

祝



第12回定期総会の開催をお慶び申し上げます

皆様の日頃よりの精力的な活動へのお取組みに対し、心より敬意を表します。

3年に及ぶパンデミックに対応して消費者も労働者も事業者もその行動を変容させ、今後、この二度と元の姿には戻らないであろう社会の変容に、政治・行政は対応を求められて行きます。

さらに、慢性デフレから脱却できない中、今度は同時に急性インフレが国民生活を直撃しています。物価高から国民生活を守るためには、今はとにかく暫定的にせよ消費税率を5%下げることが唯一の取り得る政策判断だと私は確信をしております。

国民の生命、財産を守るために何が一番必要なのか、外交・安全保障政策についても、始めに「防衛費2倍への増額」ありきでその財源論だけに終始するのではなく、真摯な議論が必要と考えます。

2023年は、私たちの過去の経験則からは予測のできない新たな「時代」の幕開けの年になることを肝に銘じ、今通常国会に挑んでいます。

最後になりますが、貴党の益々の躍進へ本総会が実り多きものとなりますよう祈念申し上げ、更なるご厚誼を賜りますこと宜しくお願い申し上げます。

令和5年2月11日



まき よしお
衆議院議員 牧 義夫

愛知県第4区(名古屋市瑞穂区・熱田区・港区・南区)

お祝いのメッセージ

本日は「緑の党グリーンズジャパン第12回定期総会」のご開催、誠におめでとございます。ご盛会を心よりお慶び申し上げます。

進行する気候危機、収束を見通せないコロナウイルス、そしてウクライナ戦争。グローバルな不安が深刻化する度に、そのシワ寄せは世界中の普通の人々に押し寄せてきます。

普通の人々の普通の幸せは単純で、複雑ではありません。御党が草の根民主主義の実践を通して、グローバルな視野を持つ政治勢力へと成長し、日本政治の転換に寄与することを期待しております。

本大会がよき統括、討議の場となり、緑の党グリーンズジャパンのさらなる発展への良い契機となりますよう祈念いたしております。

最後に、本日お集まりの皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げ、お祝いのメッセージとさせていただきます。

令和5年2月吉日

衆議院議員

小川 淳也

緑の党グリーンズジャパン

第12回定期総会へのメッセージ



緑の党グリーンズジャパンの皆さん、こんにちは。社民党党首の福島みずほです。皆さんの日頃の活動、ご奮闘に対し、心から敬意を表します。

新型コロナウイルスの死亡者数は先月に過去最高を更新するなど、未だ終息は見えないにもかかわらず、岸田政権は感染症第2類から第5類への移行を決定させました。加えてウクライナ戦争による物価高、エネルギー高で国民が困窮する中、5年間で総額43兆円にも上る防衛費増額は、経済的困窮者を更に苦しめることであり、断じて許せません。また、GXなどと響きの良い言葉を謳いながら、原発を再稼働させる動きは、到底看過出来るものではありません。

命を脅かす原発を再稼働させることは、汚染水や土壌汚染などの様々な重大なリスクもあり、環境破壊にも繋がります。地球環境を守ることは私たちの生活を守ることであり、「がんこに平和！暮らしが一番！戦争をさせない！」の社民党の公約と緑の党のみなさんが目指すところには、通ずるものがあると考えています。「草の根民主主義の緑の党」と「社会民主主義の社民党」とでタッグを組み、市民目線の政治を念頭において共に全力を尽くしていきましょう。

本日の定期総会のご盛会を心より祈念し、連帯のメッセージとさせていただきます。

2023年2月11日

社民党党首 参議院議員 福島みずほ

～メッセージ～

緑の党グリーンジャパン第12回定期総会開催にあたり、心からお祝い申し上げます。貴党は、昨年7月結党10周年を迎えられました。グローバルな視点とともに、草の根民主主義の実践を通して、未来への責任を果たす政治姿勢に敬意を表します。

岸田政権は、軍拡大増税、原発推進へと突き進んでいます。

東京電力福島第一原子力発電所事故から12年がたちます。今なお、多くの人々が非難生活を余儀なくされており、復興は果たされておられません。引き続き被災された皆さんに寄り添いつつ、原発ゼロ社会をつくるため活動していかなければなりません。しかし、岸田政権は、原則40年運転制限を廃し、新規増設まで認めようとしています。統一自治体選挙が行われる今年こそ、原発ゼロを実現する道筋を皆さんと一緒に作り出していきたいと思います。また新型コロナウイルス感染症は、日本の抱える多くの課題を露わにしました。新自由主義から脱却し、いかなる時にも、1人ひとりの命と安全、生活が守られ、格差のない、自然を大切にする社会を実現するために共に頑張ってまいりましょう。

2023年2月8日



立憲民主党 衆議院議員 **近藤 昭一**

緑の党第12回定期総会への連帯のご挨拶

日頃の貴党の取り組みに心から敬意を表しますとともに、第12回定期総会の開催を心よりお慶び申し上げます。

3年にわたり猛威を振るった新型コロナウイルスは、感染者の減少、行動制限の緩和などでコロナ以前の日常に戻りつつあります。しかし、最近の円安などによる物価の高騰は、多くの人々が困窮に陥っており、より一層の支援が求められます。

沖縄では米軍基地に起因する事件・事故、環境破壊は深刻です。沖縄県民が繰り返し辺野古新基地建設反対の意思を示しても、国は建設を強行しています。さらに、南西諸島の軍事要塞化は、再び沖縄を戦場にしようとする動きであり、県民を恐怖に陥れています。

苦しむ人々の声を無視する国の対応は、民主主義からは程遠いものです。持続可能な社会の実現に向けて世界は動き出していますが、日本はジェンダー平等や格差解消など、人権尊重の姿勢に乏しく、大きく後れを取っています。今こそ憲法の理念に立ち返り、人権、多様性が尊重される社会を築くべきです。「社会的公正・正義」や「多様性の尊重」を理念に掲げる貴党におおいに期待しております。わたくしも安心安全な社会の実現のため、引き続き努力してまいります。

最後に、第12回定期総会のご盛会と党員のみなさまのご健勝を心から祈念し、連帯のご挨拶といたします。

参議院議員 高良鉄美 (沖縄の風)

激励メッセージ

緑の党第12回定期総会の開催おめでとうございます。併せて、昨年7月に結成10周年を迎えられましたこと、心よりお喜び申し上げます。

皆様ご存知の通り、現政権はこの新型コロナウイルス感染症禍においても国民に寄り添うこともなく、ますます国民の暮らしは厳しくなる一方です。このような厳しい状況だからこそ、一人ひとりが安心して暮らせる社会、環境と調和し地域に根差した公正な社会に変えていかななくてはなりません。

そのためにも、皆様とはしっかり協議を重ね、引き続き連携を図ってまいります。今後とも、ご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、緑の党グリーンズジャパンのますますのご発展と、ご参集の皆さまのご健勝を祈念して、連帯のメッセージとさせていただきます。

どもに、頑張りましょう！

2023年2月11日



立憲民主党 代表代行
衆議院議員 西村 ちなみ